

第17回全国障害者スポーツ大会

2017 愛顔つなぐえひめ大会

大会報告書

一般社団法人 札幌市障がい者スポーツ協会

はじめに

【全国障害者スポーツ大会の意義と歩み】

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的に開催される国内最大の障がい者スポーツの祭典です。

全国障害者スポーツ大会は、平成13年に、それまで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」が統合され、宮城県で第1回大会が開催されました。以降、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックと同様に、毎年国民体育大会終了後に開催されています。

【愛顔つなぐえひめ大会の概要】

目的：ベストを尽くす選手たちの「前向きな気持ち」とチームメイトやともに競い合う選手間に芽生える「思いやりの心」が集結した笑顔を、選手や見守るスタッフ、応援する観客にも広げながら、誰もが笑顔になって楽しむことができる、また、誰もが新たな可能性にチャレンジしながら、その楽しさや喜び、大きな感動にめぐり合うとともに、笑顔あふれる愛媛での経験を踏まえ新しい自分へと成長しながら、未来へ向かってはばたくことができる。

大会期間：平成29年10月28日(土)～30日(月)

会場地：松山市等7市2町

参加者：選手 約3,500人、役員 約2,000人、
合計 約5,500人

実施競技：個人競技6種目、団体競技7種目、
オープン競技3種目

【札幌選手団の活躍】

選手団の構成：選手 個人競技29人、団体競技16人、役員27人、
合計72人

成績：台風の影響を受けた悪天候の中、出場選手は全力を尽しましたが、中止になった競技もあり、獲得したメダルは、25個(金メダル8個、銀メダル9個、銅メダル8個)に止まりました。

【選手団の日程】

10月26日(木) 結団式、出発
10月27日(金) 団体競技の選手団出発
各会場にて公式練習
10月28日(土) 開会式、大会1日目
10月29日(日) 大会2日目
10月30日(月) 大会3日目、閉会式
10月31日(火) 帰札、解団式

君は風

いしづちを駆け瀬戸に舞え



結団式 10月26日(木) 札幌市役所ロビー



○団旗が浅香選手団長へ授与された後、秋元市長に代わって長谷川保健福祉局長から、「豊かな自然にあふれる愛媛の地で、スポーツを存分に楽しみ、ともに感動を分かち合った仲間との深い絆が結ばれる、すばらしい大会となるよう願っています。」と激励の挨拶がありました。



選手宣誓（左）フライングディスク▶
元木沢選手、（右）水泳伊藤選手

歓迎セレモニー 10月27日(金) 各会場にて

松原副団長の挨拶▶



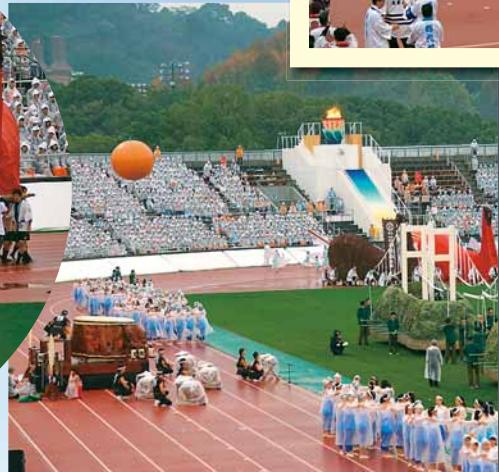
公式練習 10月27日(金) 各会場にて



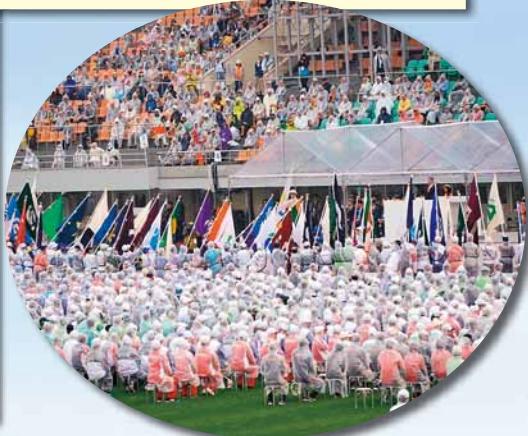
開会式 10月28日(土) 愛媛県総合運動公園陸上競技場(ニンジニアスタジアム、松山市)

○台風の直撃を受けあいにくの雨天の中ではありました
が、皇太子殿下御臨席のもと、全国からの選手団、大会
関係者、観覧者など大勢の人が参集し、開会式が盛大に
行われました。

皇太子さまは、「この大会に参加された皆さんの中から、3年後の東京パラリンピックに向けて力強く羽ばたく選手が数多く誕生することを期待しております。」と挨拶されました。



札幌市選手団は、藤井美雪副団長と旗手の斎藤誠選手(サッカー)を先頭に、サッポロスマイルの小旗を観覧席に向けて振りながら力強く行進しました。



各競技の紹介

■陸上 (身体、知的)

愛媛県総合運動公園陸上競技場（ニンジニアスタジアム、松山市）



■水泳 (身体、知的)

松山中央公園アクアパレットまつやま（松山市）



■アーチェリー (身体)

今治市宮窪石文化運動公園（今治市）



■卓球 (身体、知的) 松前公園体育館及び松前総合文化センター（松前町）



■フライングディスク (知的) 西条市ひうち陸上競技場（西条市）



■ボウリング (知的) キスケボウル(松山市)



■サッカー (知的) 北条スポーツセンター陸上競技場・球技場（松山市）



閉会式

10月30日(月) 愛媛県総合運動公園陸上競技場(ニンジニアスタジアム、松山市)

○台風が去った秋晴れの空の下、閉会式には選手団約5,500人と大会関係者、観覧者等約1万9千人が参加しました。

高円宮妃久子さまが「日ごろの練習の成果を発揮し、皆さんの躍動する姿は、感動という風になって愛媛県内を駆け抜けたことと思います。真心のこもったおもてなしに笑顔があふれる素晴らしい大会でした。」と述べ、続いて大会旗が、次回開催の福井県の西川一誠知事に手渡されました。



送別セレモニー

10月31日(火) 松山空港(松山市)



解団式

10月31日(火) 札幌市役所ロビー

○団旗が浅香選手団長から山本障がい保健福祉部長に返還された後、浅香選手団長が、「雨に風も伴い外で行われる競技はコンディションづくりに大変だったのでと察しますが、そんな中にも選手一人ひとり役員一丸となり、一生懸命競技に挑まれる姿が何よりかっこ良かったと思っています。」と大会報告を行い、山本障がい保健福祉部長が、「力一杯プレーされ、そしてスポーツを通じて仲間達と触れ合ったこの数日間は、皆さんにとって大変すばらしいものであったのではないかと思います。今回の大会で得た経験を糧に、選手の皆様それぞれが夢に向かってより一層ご活躍されることをお祈り申し上げます。」と挨拶しました。



スズポの伝言板



第18回全国障害者スポーツ大会のお知らせ 「福井しあわせ元気大会」



開催時期 平成30年10月13日(土)～10月15日(月) 3日間

スローガン 織りなそう 力と技と美しさ

マスコットキャラクター はびりゅう

実施競技 個人競技 6競技、団体競技 7競技、

オープン競技 3競技

競技会場地 福井市等9市2町

編/集/後記

選手役員を快く送り出して頂いた家族や学校、職場の皆様と強化練習や大会期間中の指導・サポートにご尽力頂きました監督やコーチなど多くの関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

また、報告書の製作に当たり、競技や指導の合間に写真を撮影して頂いた役員の皆様と大会を振り返って寄稿して頂いた選手の皆様に心からお礼を申し上げます。

「愛顔つなぐえひめ大会」を振り返って



河原 郁世 陸上選手

中途障害を抱え、自身の身体に絶望を感じていた時に、全国障害者スポーツ大会へのオファーをいただきました。人生初となる全国大会派遣の中で、私は2つの宝物を得ることができました。それは、多くの方々が車椅子を押して手助けして下さったことで獲得できた「銀メダル」と、「自身の生き方を見つめ直す機会」です。期間中、終始笑顔で支えて下さった皆さんに心から感謝とお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。



小田島 正樹 陸上選手

私は初めて全国大会に出場しました。全国大会までの毎週月曜日、練習しました。夏休みに頑張った練習は坂ダッシュ十本やりました。これは本当にきつかったです。

そして十月二十八、二十九日の本番、緊張して足が震えてました。しかし、練習をした通り全力を出し切れました。結果は二百m28秒30で8位、百m13秒66で8位でした。これからは日々の練習を積み重ね、頑張ります。



伊藤 梨里佳 水泳選手

10月28日～30日に開催された大会の、水泳競技に初めて参加しました。

札幌市役所で行われた結団式では、選手宣誓をしました。宣誓文を覚えるのは大変でした。

言う時は、とても緊張しましたが、上手に言えました。

松山のプールはとても深く、足がつかなくてつらかったです。

練習の時、すぐに自分の番がきて何度も泳ぎ大変でした。本番では銅メダルがとれましたが、一位になりましたかったです。また参加できるよう、練習します。



佐々木 登耶 水泳選手

いつもは陸上で全国大会を行っています。水泳で出場したかったので良いチャンスでした。2種目とも自己ベスト更新を目指しました。2種目とも自己ベストが出なくて、自由形5位とバタフライ6位でした。良いこともあり、飛び込みが短時間で上達したり、速い人達を見て学べることもありました。競技はもちろん、ボランティアさんとの交流や、商店街のおみやげを見て楽しんだり買ったりして、充実した6日間でした。



佐々木 忠志 アーチェリー選手

愛顔つなぐえひめ大会アーチェリーに出場した機会に、3つの良いことがありました。

1.体力に自信がついた。体調が優れず10年以上札幌を出たことがなかった。

2.アーチェリーの見直し。倉知コーチの指導指摘で、我流を見直すことができた。

3.携帯メールが使えるようになった。コーチからの連絡がメールで来た。

愛媛県職員の方、ボランティアの皆さんに大変お世話になりました。良い大会でした。



堀口 雄市 卓球選手

初めての出場で何もかもが初めての経験でした。開会式は台風の影響で雨でしたが、入場するとたくさんの人々が暖かい声援をくれて、元気をもらいました。卓球では緊張してあまり力を発揮できませんでしたが、またいつか出場して、勝利をつかみたいと思いました。ほかの障がい者の人ともいろいろ話すこともできて自分の中で良い経験ができました。



竹内 彰彦 卓球選手

僕は、愛顔つなぐえひめ大会に出場しました。

開会式の日は雨でしたが、66番目に元気に入場行進しました。宿舎は道後温泉にあったので、卓球の選手達と温泉に入ったり、買い物をしたことが楽しかったです。

卓球は、千葉県代表と大阪市代表と対戦しました。これからもっと強くなるように練習を頑張りたいと思います。支えて下さった大会の役員コーチありがとうございました。



元木沢 正彦 フライングディスク選手

台風が直撃したため、天候に恵まれませんでしたが、地元のボランティアさんが披露してくれた笑顔の踊りを見て、気持ちが明るくなりました。

競技の時には、スタッフの人たちが雨の中でも応援してくれていて、とても励まされました。そのおかげもあり、アキュラシーでは2位という結果を残すことができました。2位決定戦では相手の人と接戦になったこともいい思い出です。愛媛の人たちの温かさや優しさにふれて、来年もまた挑戦したいという気持ちになりました。



三好 宏樹 ボウリング選手

今回初めてボウリングで全国大会に参加できてとっても嬉しかったです。

大会は練習の時のように、なかなか上手く投げられませんでしたが、ますますボウリングが大好きになりました。競技中にいつでも良いスコアが出せるようになりたいと思いました。他の都府県の方やボランティアさんともたくさん交流できて楽しかったです。

3日の閉会式の前に、ボウリングのコーチと選手で坊ちゃん路面電車に乗ったり、観光もできて初めての松山を楽しみました。道後温泉、気持ちよかったです。



彦根 一成 サッカー選手

私は、今回で全国大会には8回目の出場となりました。昔に比べて今はレベルも上がり、どこが勝ってもおかしくないくらい大会が面白くなっています。

今回の大会は台風の中での試合でしたが、プレーが思うようにできず、相手の大阪チームに0-1で負けてしまいました。大阪はシュート2本、札幌市は5本でしたが、大阪の気持ちが強く完敗でした。おかげで課題も見つかり、またやり直しして来年に臨みたいと思います。関係者の皆さん本当にありがとうございました。